

Side event for the PMAC 2014

How can we enhance the competency of nursing and midwifery?

- Current approach and challenge of continuing education and future commitment in Southeast Asia –
3rd Workshop on Nursing and Midwifery in Southeast Asia for improving the quality of nursing

27th Jan., 2014 (Mon) 9:00 - 17:30

Pattaya, Thailand

Organizers

NCGM National Center for Global Health and Medicine

JICA Japan International Cooperation Agency

Participants

Cambodia, Lao PDR, Myanmar, Viet Nam, Indonesia, Fiji, Thailand, Japan

Facilitator

Dr. Puangrat Boonyanurak (Thailand)



PRINCE MAHIDOL
AWARD CONFERENCE
2014

TRANSFORMATIVE
LEARNING
FOR HEALTH EQUITY



第3回 東南アジア看護助産ワークショップ

テーマ：看護職の資質向上を目指して-継続教育における現状と課題、今後の取り組み-

日時：2014年1月27日(月) 9:00 ~ 17:30
場所：Pattaya, Thailand (タイ)
参加国：カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、インドネシア、フィジー、タイ、日本
言語：英語
主催：国立国際医療研究センター 国際医療協力局
共催：独立行政法人 国際協力機構(JICA)

【ワークショップ開催の概要】

社会と疾病構造の変化に伴い、保健医療の重要課題に携わる保健医療従事者の役割は変化、拡大しつつある。その中で大多数を占めるのが看護職であるが、開発途上国の看護サービスはその質・量共に、人々の期待に充分に応えていないと言いがたい。看護職に関する法制度や教育制度は各国で異なっているのが現状であり、開発途上国の看護行政を担う人々が情報共有する機会は限られている。

看護職の資質を担保するためのシステムは、法律や規則、資格認定、登録制度を土台として、看護教育が重要要素としてあげられる。このような背景のもと、看護職を取り巻く課題を明らかにし、改善へのアプローチを抽出・情報交換を行うことは有用であると考え、国立国際医療研究センター(以下、NCGM)は、JICA が支援する看護人材開発関連プロジェクトを通じ、東南アジア各国の看護行政官を招き、『東南アジア看護助産ワークショップ(以下 WS)』を開催した。第1回は法制度の現状や法制度整備へのアプローチ、第2回では資格認定・登録制度をテーマにし、各国の看護行政に関する情報を共有、互いの国から学び合うことの必要性が確認された。今年度は現在 JICA が実施する看護人材開発に関連するプロジェクトの関係者と協働し、「継続教育」をテーマに開催する。

【第3回 ワークショップの目的】

1. 看護職の実践能力向上のための卒後継続教育に関する各国の現状と課題の共有
2. 今後の取り組みの検討

今年度は PRINCE MAHIDOL AWARD CONFERENCE 2014 のサイドイベントとして、JICA と共催で WS を開催する。

【過去のワークショップレポート】

第1回 (2011年度):看護職を取り巻く法制度の現状と課題 <http://www.calameo.com/read/000919772a7b606e599fa>

第2回 (2012年度):看護職の資格認定・登録制度 http://ncgmimcj.ec-net.jp/HP/library/others/ws_2012.pdf

【問い合わせ】

国立国際医療研究センター
国際医療協力局 派遣協力課 (担当:橋本千代子)
電話番号：03-3202-7181(大代表)
e-mail：c-hashimoto@it.ncgm.go.jp

